

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	ProgrammingDay光		公表日 令和7年2月1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83%	17%	・必要に応じパーテーションを設置し集中しやすい環境を取っている。 ・人数が多い時間帯だと狭いと感じることがある ・中央のスペースの確保などお子様がのびのびと過ごせるよう工夫している。	・お子様が楽しく活動できるように努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	83%	17%	・個別対応を言っているのに同時対応が当たり前になっている ・個別対応がしっかりできるよう職員を配置している。	・特別な配慮が必要な児童には個別対応を行う。 ・同時対応になってもう一人一人にしっかりと寄り添った対応を行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	67%	33%	・玄関は入りやすいようスロープがある。個室がもう一つあると個室対応の方が良い子が対応しやすいかもしれない ・トイレがバリアフリー化されていないが、事業所のスペース上難しいと思われる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	83%	17%	・なかなか掃除ができていない ・お子様の活動スペースに不要なものを置かないよう努めている。	・掃除がルーティン化できるようにします
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	・個室が一つのみという物理的な問題があるため、来客対応等と重なると児童が使用できない場合がある。重ならないようにスケジュールの調整を行ったり、使えない場合は児童に説明は行っている。 ・個室があり、お子様がご家族の要望に合わせて使用できるようにしている。	・クールダウンや個別の相談事だったり、状況に応じて使用していきたいです
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	67%	33%	・Slack（社会連絡ツール）を通して細かいコミュニケーションを取っている。	・事業所内ミーティングは大切に実施してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・保護者向け評価表は全職員が確認できるようにしている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		・個別支援計画の内容の見直しなど、実際の支援に合うよう意見を取り入れてもらっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	・法人内の別事業（就労継続支援A型事業）として受審しており評価結果を事業所に共有され、それをもとに業務改善に繋げている。	事業として受審義務はないもの、機会があれば受審し業務改善に繋げていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		・研修など積極的に受けるよう、社内でも働きかけを行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		・保護者に日々の療育内容を口頭またはメールにて報告している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		・客観的に分析し、それを活かした放課後等デイサービス計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		・検討する会議があり様々な意見がいただける ・毎週事業所内ミーティングを開催し、職員の共通理解を行う場を設けている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		・計画に沿った支援を行えるよう、放課後等デイサービス計画については事業所内で共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%	・テンプレート文書、事業所内システムを用いて、確認している。	・お子様に柔軟な対応を行ってまいります。 ・フォーマルな情報も職員で共有し、対応できるようにします。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		・ガイドラインを確認しながら、計画を作成するよう努めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	40%	60%	・Slackを活用して立案しやすい雰囲気を作っている。	・ミーティングにて日頃の対応に活かさせていけるように話し合っています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		・児童に合わせて固定したり変化させる前は事前に本人に話すなどの配慮をしている。 ・その都度児童にどんなことをしたいか聞き、ニーズに合わせた活動を行っている。 ・お子様の特性や様子の变化に合わせて柔軟に活動内容を変えられるよう努めている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	67%	33%	・集団活動は意図的に行っていないが、子ども達の各ニーズに合わせて、集団活動を行えるよう、職員が見守っている。逆に集団活動を好まないお子様には個別活動で集中して活動できるように努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	33%	67%	・必要に応じて打合せをしている。また状況を見てフォローする連携ができていない ・必要に応じて行っている ・事業所内システムも活用し、支援内容や役割分担について、的確にできるようにしている。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	・事前に打ち合わせがあった内容は終了後も共有している ・必要に応じて行っている ・支援の振り返りについて適宜話し合う環境を作っている。		
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		・保護者への報告もあるため、徹底している。		
23	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		・半年以内に確実に行うよう、保護者への連絡、モニタリング実施をしている。		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%		・「本人支援」「家族支援」について組み合わせを行っている。保護者からの相談も適宜受け付けて対応している。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		・ここは力を入れて対応している。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		・児発管・管理者と担当者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	60%	40%	・必要に応じて支援体制を作っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	80%	20%		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	20%	80%	・必要に応じて情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	83%	17%	・必要に応じて情報共有を行っている。	・引き続きご要望に応じて随時対応してまいります
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	67%	33%	・地域の児童発達支援センターには必ず誰か一人は参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		100%	・機会があれば地域と活動する機会も設けたい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	67%	33%		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		・お子様の様子については細かく報告するよう努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	67%	33%	・法人内の研修について保護者に周知し、参加していただいた実績がある。	・引き続き情報提供を行ってまいります
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		・体験利用、契約時、随時お問い合わせなどで丁寧な説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		・お子様やご家族の意志を確認し、個別支援計画を作成している。特にお子様には「おやくそく」という形でお子様向けの個別支援計画を用意している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		・モニタリング時やお問い合わせがあったときに支援内容やお子様の様子を細かく説明し、同意を得るよう努めている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・お迎え時に自宅の様子や学校での出来事聞くことがあるので、その話を聞いて助言を行っている ・家族等からのお問い合わせについて適宜相談に応じ、必要に応じて管理者を通じて面談や助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	40%	60%	・この1年間で父母の会の実施実績がないが、きょうだい同士の利用は多いため、きょうだい同士で交流する機会を盛んに設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・苦情があった際には迅速に管理者に報告、事業所内で情報を共有し、適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・毎月請求書と共に「ホウカゴパソコンサボ」という月報誌を送って、情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・社内システムなどを用いて、個人情報には十分留意して取り扱っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・お子様や保護者の一人一人のニーズや今の気持ちに配慮して、ニーズカードの支援ツールの活用やホワイトボードなど視覚的適応などに努めている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	・事業所の行事に地域住民を招待した事例はこの1年間で無いが、機会があれば実施したい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・オンライン上でいつでも確認できるように策定し、避難訓練に関して事業所内では行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・策定し、非常災害の発生に備えた対応訓練について、行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	67%	33%	・必ず契約時に使用している薬やてんかん発作などについて保護者に尋ねている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		100%	・食事やおやつ提供はしていない ・当事業所では飲食の提供は無し。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	33%	・活動中のお子様には常に目を配り、安全管理に努めている。特に椅子から転倒については、気を付けて、万が一のときは速やかな情報伝達を行うよう努めている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%	・何かあったときは確実に家族等に周知できるよう努めている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハットは速やかに作成し、管理者や上長への確認の後に、法人内で共有し、再発防止に努めている。また、いつでも確認できるように社内システム上に保管している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・虐待防止については社会研修を行い、適切な対応を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	80%	20%	・やむを得ず身体拘束を行う必要がある場合は、必ず組織で検討した上で決定し、お子様や保護者に事前に十分に説明し、個別支援計画に記載し、同意を得るようにしている。パソコンなどの精密機械の乱暴な取り扱い時の対応については更に検討する余地あり。		